

2016年7月14日

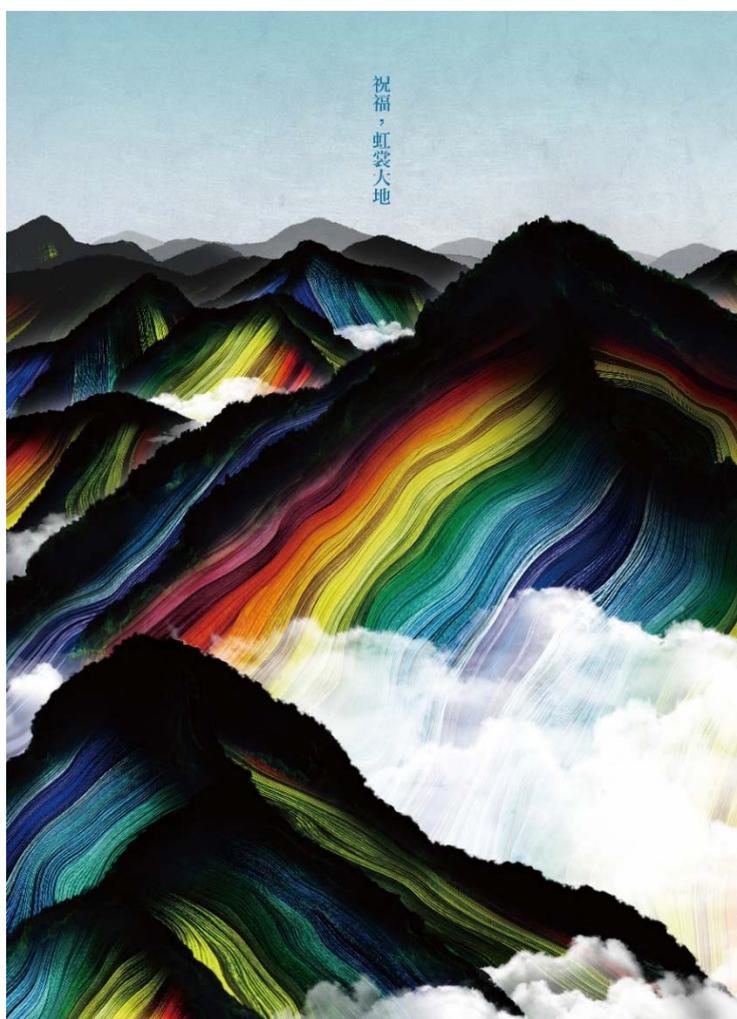
21世紀のグローバルな情報環境のなかで描かれる台湾原住民族の文化と歴史のイメージ

順益台湾原住民博物館所蔵
学生創作ポスター展
Shung Ye Museum of Formosan Aborigines Collection:
Students' Poster Design Exhibition

台湾原住民族をめぐりイメージ

2016年8月4日（木）から開催！ 国立民族学博物館

国立民族学博物館（大阪府吹田市千里万博公園 10-1）では、企画展「順益台湾原住民博物館所蔵・学生創作ポスター展 台湾原住民族をめぐりイメージ」を2016年8月4日（木）から10月4日（火）まで開催する運びとなりました。



林慧茹「祝福、虹の装いの大地」

本展では、当館と学術交流協定を締結している台湾の順益台湾原住民博物館が2006年より隔年で主催、実施している学生ポスターコンテストで入選を果たした作品を中心に紹介します。コンテストの主題となってきたのが、台湾の先住民族である台湾原住民族の文化や歴史です。

情報産業がめざましい発展を遂げた台湾では、若い世代がデジタルコンテンツの制作に取り組み、豊かな構想力や創造力を発揮しています。本展では、学生たちがとらえた原住民族のイメージを表現したポスターをご覧いただくとともに、イメージとむすびつく原住民族の物質文化を紹介します。

【展示概要】

○本展の見どころ

■日本で紹介されることの少ない台湾原住民族イメージポスター約 130 点を一挙に展示

■台湾原住民族のイメージのもととなる民族資料を併せて展示

○ポスター約 130 点、資料点数 12 点

○展示構成

1. 原住民族イメージのひろがり
2. 原住民族のとらえる色と形
3. ものがたり
4. 装い
5. 祭り（祈り）
6. 自然

■台湾の原住民族とは

台湾は、日本の南西諸島のさらに南西側に位置する九州ほどの大きさをもつ島です。人口の大半は漢族系の人びとで、数%のオーストロネシア系の先住民族の人びとが住んでいます。言語、歴史、居住地域、社会組織などの違いによって、いくつかの民族集団にわかれており、全体として原住民族とよばれています。中央山脈とその東側の平野や島嶼を伝統的な居住域としてきました。現在では都市に住む人びとも多く、異なる民族間や非原住民族との通婚も少なくありません。

■順益台湾原住民博物館とは

原住民族文化の社会的な理解を促すことを理念とした企業のメセナ活動により 1994 年に設立された私立博物館です。展示、教育、研究、収蔵という四つの活動を柱とし、原住民族の集落との共催展示会の実施、原住民族学生への奨学金の支給、研究機関や大学への研究助成、原住民族関連出版物の発行など、原住民族文化の振興や研究へ貢献を続けてきました。

【開催概要】

展示名	企画展「順益台湾原住民博物館所蔵・学生創作ポスター展 台湾原住民族をめぐるイメージ」
会期	2016 年 8 月 4 日（木）～2016 年 10 月 4 日（火）
会場	国立民族学博物館（大阪府吹田市千里万博公園 10-1）企画展示場
開館時間	10:00～17:00（入館は 16:30 まで）
休館日	水曜日（水曜日が祝日の場合は、翌日が休館）
無料観覧日	9 月 10 日（土）、9 月 11 日（日）、9 月 19 日（月・祝）
観覧料	一般 420 円（350 円）、高校・大学生 250 円（200 円）、小・中学生 110 円（90 円） ※（ ）は 20 名以上の団体料金／リピーターは団体料金を適用 ※本館展示もご覧いただけます
主催	国立民族学博物館
共催	順益台湾原住民博物館
特別協力	原住民族委員会原住民族文化發展中心、凱達格蘭文化館、順益關係企業、国立情報学研究所
後援	中華民国（台湾）文化部、原住民族委員会、台北市政府原住民族事務委員会、台北駐日経済文化代表処 台湾文化センター

【実行委員長】

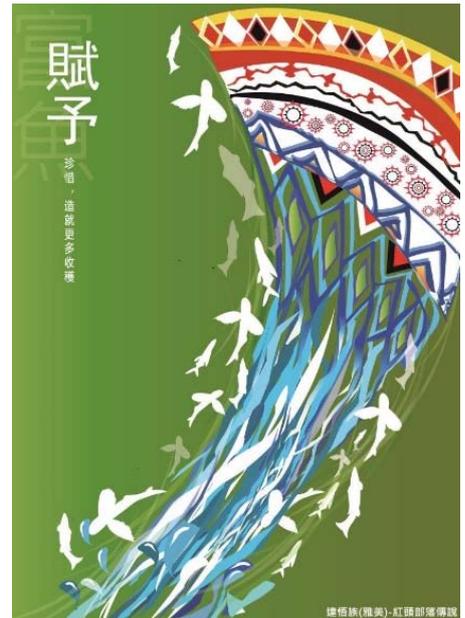
野林 厚志（国立民族学博物館 文化資源研究センター・教授）

東京大学大学院理学系研究科博士課程中退。1996年より当館。専門は人類学、民族考古学、台湾研究。

【関連催し物】**みんぱくウィークエンド・サロン**

研究者が展示場に登場し、展示や研究についてお話しします。

- タイトル 「デジタル時代の原住民イメージ」
- 内容 情報産業がめざましい発展を遂げる台湾では、若い世代が豊かな構想力や創造力を発揮しデジタルコンテンツの制作に取り組んでいます。こうした創作活動が台湾における民族間関係にも深く関わっていることをお話しします。
- 日時 8月14日（日）14時30分～15時00分
- 講師 野林 厚志（本館教授）
- 申込不要 要展示観覧券
- 場所 本館ナビひろば



海の魚は天界にも生きているというタオ族の
言い伝えがモチーフとなっている。

【お問い合わせ】 国立民族学博物館 総務課 広報係
電話：06-6878-8560（直通） Fax：06-6875-0401 Mail：koho@idc.minpaku.ac.jp
プレス向けウェブサイト www.minpaku.ac.jp/press

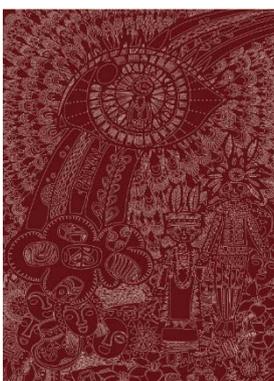
企画展「順益台湾原住民博物館所蔵・学生創作ポスター展 台湾原住民族をめぐるイメージ」
広報用画像リスト



1. 李翊慈「祝祭の石板—豊年祭」



2. 林慧茹「祝福、虹の装いの大地」



3. 陶國英「恋する孔雀のトンボ玉」



4. 土器



5. 木彫船



6. パイワン族女性用胸飾り

これらの広報画像はデータにて提供可能です。

ご入り用の画像があれば、総務課広報係まで次頁申込用紙の内容をお知らせください。

企画展「順益台湾原住民博物館所蔵・学生創作ポスター展 台湾原住民族をめぐるイメージ」
広報用画像利用申込用紙

〔メールでお申し込みの場合〕 koho@idc.minpaku.ac.jp

〔FAXでお申し込みの場合〕 FAX 番号: 06-6875-0401

【ご希望の画像番号】

--

【貴社・貴機関についてお知らせください。】

貴社・貴機関名	媒体名
ご担当者名	所属部署
ご住所 〒	E-mail
電話番号	FAX 番号
ご掲載・放映の予定日が決まっている場合	年 月 日

【プレゼント用招待券】（ご希望の場合はどちらかにチェックを入れてください）

3組6枚 5組10枚

【広報に関するお願い】

- 写真使用に関するお願い、注意事項
 - ・クレジットには番号ごとに次のとおり記載してください。
 - 【1】李翊慈「祝祭の石板—豊年祭」
 - 【2】林慧茹「祝福、虹の装いの大地」
 - 【3】陶國英「恋する孔雀のトンボ玉」
 - 【4】国立民族学博物館蔵
 - 【5】国立民族学博物館蔵
 - 【6】国立民族学博物館蔵
 - ・写真（画像）のトリミングや文字乗せはご遠慮ください。
 - ・作品写真の使用目的は、本展の紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。
- 本館の基本情報等の確認のため、メールまたはFAXにて、掲載記事、番組内容の原稿等を下記連絡先までお送り願います。
- お手数ですが、掲載紙・誌または録画媒体を2部お送りください。